

第3回人道の港敦賀ムゼウム機能拡充検討部会 議事要旨

- 復元4棟への移設を前提に、複数の配置計画案を下敷きとして、機能のつながりや動線を検討した。
- 車イスやストレッチャーでの利用者もいるのでバリアフリーに十分考慮して、エレベータの設置が必要。
- 「命と平和」のメッセージは先に伝えた方が解りやすい。
- 現在の構成を大切に、不足する情報を埋めて次世代へ伝えられるものに。
- 過去の出来事から、現在へとつながるストーリーが大切。
- ポーランド孤児は資料が少ないが、日本が果たした役割と敦賀町（当時）が受け入れた事実を大切に。
- ユダヤ人難民は、市民の証言を大切に扱う。
- 交流展示を拡充し、北米やイスラエル等へプロモーションできるように。
- リピーターを呼ぶためには感動力が必要。企画展に注力する。
- 本部会で検討した内容を反映し、事務局によって新たな配置計画案を作成し、委員会に諮る。

第3回鉄道遺産等保存活用検討部会 議事要旨

- 金ヶ崎周辺地区全体の諸機能について、事務局案、福井県検討案をもとに検討した。
- 現ムゼウムは地区の案内所兼休憩所として活用し、地区内の各資源をつないで回遊性を持たせるようにする。
- 転車台の設置に際しては、SL等の車輛の調達もあわせて調査中。
- 本町のC58の移設は市民の熱望。実現の可能性を含む他、可能であれば複数の車輛を調達できないか。
- 動態展示は法的にも運用的にもハードルが高いので、代替エネルギーを検討。走行は地区内に限るのが現実的か。
- 将来的な地区全体の街並み再現を見据え、復元4棟は正しく元の位置に建てる。
- トワイライトエクスプレスの部品譲渡について交渉中（車輛の譲渡は法的に困難）。サロンカーの雰囲気再現する等、今後検討する。
- トワイライトエクスプレスは部品だけでなく車両ごともらえないのか。
- 鉄道のまちで売るのであれば、他の車両を探せないのか。
- 若い世代は、敦賀が鉄道のまちであることへ実感が湧いていないので、高校生等へ意見を聞いてみてはどうか。
- 複数の土地所有者と交渉を進めながらプランを実現化していく。
- 復元4棟を将来的に残していくのなら、いいものをきちんと作って欲しい。また、学校が利用できるように、150～200名が入るようにして欲しい。